

各関係機関の長 殿
各病害虫防除員

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和4年度病害虫防除情報第1号

サツマイモ基腐病について、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**かんしょ育苗ほ場においてサツマイモ基腐病の発生が確認されています。
今後の発生拡大防止のため、採苗時及び本ぼでの対策を徹底しましょう。**

- 1 作物名 かんしょ
- 2 病害虫名 サツマイモ基腐病

3 発生状況(経過)

今年度産かんしょ育苗ほ場においてサツマイモ基腐病の発生が確認されている。これまで本病の発生が少なかった地域においても、育苗床での発生が確認されており、今後の発生拡大が懸念される。

4 採苗時のポイント

- (1) 苗床に本病が発生した場合、症状のある株は種イモごと速やかにハウス外に持ち出し、適切に処分する。また、周辺株への伝染を予防するため、銅剤での予防散布を行う。
- (2) ベンレート水和剤またはベンレートT水和剤20を用いて、採苗当日に必ず苗消毒を行う。また、消毒液は充分量を準備し、使用する当日に調整したものを用いる(表1)。
- (3) 採苗の際は、株の地際部から5cm以上離して採取し、採苗時のハサミはこまめに消毒(火炎滅菌または丁寧な水洗と拭き取り)する。

表1 サツマイモ基腐病に対する苗消毒の登録農薬(2022年4月1日現在)

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期	使用方法
ベンレート水和剤	500~1,000倍	1回	植付前	30分間苗基部浸漬
ベンレートT水和剤20	200倍	1回	植付前	30分間さし苗基部浸漬

5 本ぼにおける対策のポイント

- (1) 定植後に発病した株(写真1)は、症状の進展とともに、病斑部に大量の胞子を形成し、降雨等により周辺に拡がることから、排水不良なほ場では、植付前に明きよの施工や耕盤破碎等の排水対策を実施する。
- (2) 定植後はほ場での発生の有無をこまめに確認し、発病株の早期発見・除去に努める。発病株(写真1)を見つけた場合は、早急に抜き取り、ほ場外に持ち出し、適切に処分する。また、周辺株への伝染を予防するため、銅剤での予防散布を行う。散布の際は、株元にしっかり薬液がかかるよう注意する。

- (3) 定植後、5～6週間頃から発病し始め、その後急速に進展するため（図1）、初発時期を目安にアミスター20フロアブルによる防除を行う。アミスター20フロアブルは耐性菌の発生リスクがあることから、連用は避け、銅剤との交互散布を行う（表2）。



写真1 本ぽにおける発病株（左：株の萎れ、右：基部黒変）

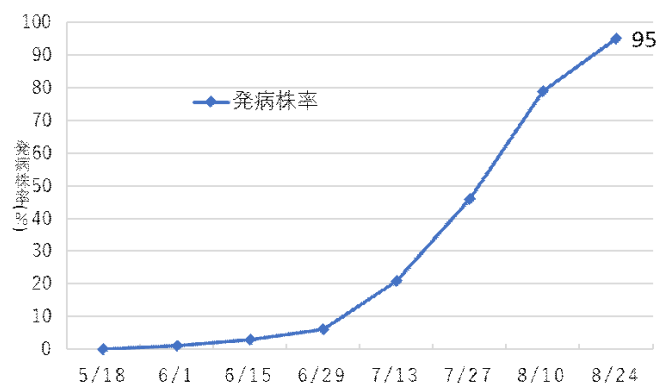


図1 甚発生ほ場における発病株率の推移（R3、5月上旬定植）

表2 サツマイモ基腐病に対する茎葉散布の登録農薬（2022年4月1日現在）

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期	使用方法
ジーファイン水和剤	1,000倍	—	収穫前日まで	散布
Zボルドー	500倍	—	—	散布
アミスター20フロアブル	2,000倍	3回以内	収穫14日前まで	散布
	32倍	3回以内	収穫14日前まで	無人航空機による散布

※農薬は、使用する前に必ずラベルの表示を確認し、適正に使用すること。

○本病に対する詳細な防除対策は、以下のマニュアルを参照すること。

- ・【宮崎県】サツマイモ基腐病 対策マニュアル（令和3年度版）
https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/67650/67650_20220301190612-1.pdf



- ・【農研機構】サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策（令和3年度版）
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotator03.pdf



《連絡先》 宮崎県総合農業試験場 病虫害防除・肥料検査課
 （病虫害防除・肥料検査センター） 阿萬・久野
 TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127
 E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp